（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）　昭和十三年六月十八日　常磐毎日新聞　〔土曜日〕　第四千二百三十八號　〔一〕

常磐毎日新聞

六月十七日　夕刊
日刊
定價　一部金五錢　一ヶ月金五拾錢　郵税五錢
廣告料は一段二百五拾錢、場所指定は二行七拾錢
日曜附録日の型日休刊
發行兼編輯人　坂本忠治
印刷人　同
發行所　常磐毎日新聞社
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
電話　六三〇番
（社會部直通）
（編輯局直通）
（業務局直通）

天氣豫報

今晩は北東の風　曇雨模様
明日は北東の風　曇雨模様

ゾロリ首を揃へた
坑夫の見せ玉
マンマト五百圓騙取
人夫拂底に眼をつけた新手の詐欺漢一味捕る

磯原町　迄自動車で飛んだ足がつき出倉炭礦町迄飛ばし足跡を晦ますさんと何れもちり〳〵となつて唐虫、出倉の兩炭礦に潜伏してゐた坑夫十餘名を檢擧平署に連行嚴重追究してゐる詐欺漢一味はつたや旅館からハイカーで磯原町迄飛ばし足跡を晦ますさんと何れもちり〳〵となつて唐虫、出倉の兩炭礦に潜伏高飛せんとしてゐた處を檢擧されたものである

公會堂委員會は本日午後一時から市會議事會堂に開かれ公會堂内部の防音張り改善に就いて協議した

分教場昇格　江名で保留
江名町は既報の如く兒童の增加から同町永崎分教場を江名第二小學校に昇格される計劃であつたが昇格による經費の增大等によつて大字江名並に地元永崎兩部落の意見對立し行惱みの形となつたので此程町會で昇格案を一と先づ保留とし圓滿に事を運ばせることになつた

國語科協議　縣下女子中等學校の國語科教
員研究協議會は既報の如く今十七日午後一時から磐女講堂に開始明十八日午前中行はれるが終つて市内を見學解散する筈

大貫入山所長が勇躍〇〇方面へ

入山炭礦所長大貫經次氏は今回重大なる任務をおびて來る二十三日勇躍〇〇方面に出動する事となつた

竹原檢査官歡迎會開く

平市では十九日午後五時から目下徴兵檢査執行の爲め出張中の檢査官竹原大佐一行の歡迎會を開く會費二圓五十錢

電話簿廣告　平郵便局では十五日より來る卅日迄電話番號簿への廣告を募集してゐるが詳細は平局に問合せられたい

美容の講習　平市二丁目中野洋品店では十八九の兩日午後四時から九時迄でマルトモホールでテルミー美容講習會を開きテルミー美容科學研究所から招聘された講師に依つて涼々しい軍國調の美容法を講習し尚は十九日午後一時から三時迄は美容の相談に應ずる由、

鈴木訓導書展入選

平市鎌田町第三小學校訓導鈴木定光(三〇)氏は磐堂と稱し書道の熱心な研究家だが今回文務省後援の東京書會第七回展覽會へ白虎隊詩の楷書を出品したところ見事入選した

兒童の体格　總体的に向上
全國平均には多少劣る

平市内各小學校の十二年度の身体檢査カードはこの程出來上つた、これによると調査人員は第一校から第四校迄を合して合計男兒二千五百四十五人、女兒二千四百四十九人、十一年度の平均

	十二年度	十一年度
△身長	一二六、五	一二五、八
△体重	二六、〇一	二六、〇〇
△胸圍	六二、〇〇	六一、五

に較べ十二年度は

	十二年度	十一年度
△身長	一二八、三	一二六、八
△体重	二六、〇一	二六、〇〇
△胸圍	六二、〇〇	六一、五

で總体的にはよくなる傾向をみせてゐるが、この程文部省より送附し來つた十年度全國兒童平均に較べては稍々劣る狀態であると

日立軍を迎へ磐女陣容成る
けふ出場選手發表

既報―來る十九日櫻ケ丘グラウンドに茨城スポーツ界の雄日立製作所女子軍を迎へ各種競技に一戰を交へることゝなつた磐女競技部は目下必勝を期し連日敎諭コーチの下に猛練習を行つてゐるが、當日の出場選手は今十七日左の如く決定された

▲六十米―村田良子、井坂京子▲百米―佐藤ケイ、有賀貞子▲二百米、飯塚喜久子、馬目喜久興▲ハードル―有賀貞子、長谷川スミ子▲走巾跳―北郷ハルイ佐藤ケイ▲三段跳―馬目喜久興、片寄勝枝、有賀貞子▲走高跳―長谷川スミ子、村田良子▲砲丸投―大須賀ツネ渡邊まり子▲四百米リレー―北郷、馬目、長谷川、村田

債券類の賣行盛況

平局で去る十日に來資出された第三四回貯蓄債券は既記の如く初日に大半を消化三日目で資出し割當ての二百七十枚賣りつくした、一方十五日から盞を開けた事變國債は四萬圓の割當てながら新に資出された千圓券は先般來の局員の豫約勸誘もあつて第一日で殆んど賣れ殘りも兩三日中には消化しつくされやうと見られてゐる

テルミー美容講習會
美容も凛々しい軍國調!!!

今こそ、皆樣のための
〝美のチヤンス〟
ですぜヒお逃び下さい

時節がら、婦人日常のお身嗜みである美容も、手數と時間と費用を省いた方法に依らなければなりませんし、お髪も出來るならば御自分で美しく結つていたゞきたいと思ひます、その意味で今回のテルミー美容御相談會は御家庭美容の正しい方法と、自分で結へて美しくお似合ひになる洋髪の個人指導を特にお願ひいたしました

日時6月18・19日午後4時―9時（19は午後1時より）
會場　マルトモホール
會費　一切不要
講師　銀座テルミー美容科學研究所より招聘
主催　中野洋品店

擴聲機を洩るゝ
老市長の聲
全國に響いた平市の躍進振

「福島を語る」の座談會に出席した平市長寄沼鉾太郎氏の昨夕八時半の放送に興味をもつた三萬市民は何れも擴聲機から洩れる老市長の聲を懐かしみ、時間の關係で短かい恨みはあつたが失れても闘進平の發展振を全國津々浦々迄響き亘らした熱演振りに感入つた

地方切ての親分
小名屋を再檢擧
今度は相當の人物も登場する模樣

竹町小名屋一家の親分藤川登(三五)方を昨十六日夜再び檢擧目下嚴重取調べ中であるが今度は相當の人物も登場するではないかとみられてゐる

平署では管内一般の賭博狩を行つてゐるが此の前にも處罰された小名濱町

平地の各家庭
恰も晩秋の風景
ソレ火鉢だ羽織だ

本格的の梅雨に氣温低下

低下しまでのことで今までが少々暑すぎたものでさした心配はない と語つてゐる

公會堂委員

平地方は昨日來涼しさを通越し思ひもよらぬ寒さに見舞はれ、しまいかけた火鉢を持出やすう浴衣の上に羽織を重ねるやう各家庭共冬に向ふ晩秋の風景を描いて「どうも今年の氣候は不順らしい」等と騒ぎ出したが氣温は華氏で六十度八分平年より三四度低い程度でさしたこともないとはいひ三日前の十四日八十四度に比べて二十數度の急降であり驚かされたのも無理はない、小名濱觀測所では

愈々本格的梅雨型の氣

敵國の友達に
慰めのお手紙
童心を通じて……
明朗な日支親善

純眞な童心を通じて固く結ぶ日支親善明朗篇平第二校の兒童達は抗日戰の

痛ましい犧牲となつた支那のお友達に慰問文を送りませうと先頭から準備を進めてゐたが續くこの程共れが續つたので近く發送することゝなつた、純眞な兒童の誠心からほとばしり出たものばかりで戰禍に苦しむ支那小學生の身の上を案じて種々と慰め子供心にも正義日本の本當の姿を支那の友達に知らせやうとする優しいものばかり、左の一、二を拾つて見ると――

其の一　私達は新聞で日本の兵隊さんと

たの國と私の國は戰爭をしてゐますがほんの一部の人たちと戰つてゐるのですから私達は氣にかけないで仲よくして友達になりませう……日本の方は戰爭はしたくありません、惡い氣持でやつてゐるのではありませんあなたの國の思ひちがひをしてゐる人の惡い考へをなほすためなのです、あなたの方の人がみんなもとの氣持になつて日本の國と仲よくなつて下されば日本の國はどれだけうれしいかわかりません……

其の二　私達は新

擴聲機を洩るゝ
老市長の聲
全國に響いた平市の躍進振

支那の子供と仲よく遊んでゐる寫眞を見るとうれしくてたまりません

これ等の中には美しい模樣繪入りの封筒に入れたものもあつて受取つた支那の兒童達は大喜びであらうと

船舶職員養成講習
四倉に開く

本縣水産會は今夏八月十四日から九月三日迄三週間四倉濱漁業組合事務所樓上に「小型船丙種運轉士養成講習會」を開催することゝなつたが

講師は東京市赤坂區財團法人漁船技術員養成所技師大里多磨夫氏で

磐中との對戰に
平商が大勝
昨日劍道試合

磐中及び平商劍道部は來る十九日双中道場に擧行される浜三郡下中等學校大會を前に昨十六日午後三時から平商道塲で對抗試合を催したが十六―九で平商軍大勝した、戰績は左の如くである

根本(充)2―1	鈴木	五十嵐2―0	沼田
久2―0	小野	牛渡	邊0―2
鳥山	江尻2―1	柏木	袖野
山1―2	東海林	口2―0	立花
仲2―0	吉田	瀧1―2	金成
根來(一)2―1	小泉		

平驛では火藥類や石油類を客車内に持込むことが最禁されてゐる時々禁を犯すものがあるので待合室其の他に注意ビラを貼り取締ることゝなり目下準備を進めてゐるが客車持込禁制品は左の如く違反者は運賃の五倍を請求されると同時に下車を求められ罪に問はれることになつてゐるから注意が肝要である

ウツカリ持込めば
運賃の五倍請求
火藥や石油の禁制品
▽……平驛が注意ビラ

△銃用實包又は空包(二百個以内は可)△銃用雷管附藥莢(四百個以内は可)△銃用火藥類、緩燃導火線、玩具用普通火工品(容器荷造共一瓩以内)△石油類(灯、油紙、油布類(旅行中使用する少量のもの)△生石灰、カーバイト、酸類(硫酸、鹽酸等)各種ガス(可燃性不燃性壓縮液化)可燃性液體固體、酸化腐蝕劑

漁業視察の爲め
平潟町から來郡

多賀郡小濱町は小松町長及び金町議は漁業先進地小名、江名、四倉各漁塲を二十日實地視察することゝなり來郡するが視察要項は左の如くである

△漁業組合改革前後の狀況(イ)改革前の狀勢(ロ)改革の過經及び現在の狀況
△現在施設の實際　1立特部の組織機構(イ)組織(ロ)荷造賃還法(ハ)立替金の徴收方法(ニ)資金調達の方法2鮮魚販賣の方法
△金融(イ)信販購利組合の事業內容(ロ)其他
△漁港修築計畫並に經費地元負擔方法(イ)沿計(ロ)經費地元負擔方法
△漁業經營　(イ)共同施設(ロ)作業の統制(ハ)勞力の合理化(ニ)製品販賣の方法
△生活經濟　(イ)生活資料の自給自足及購入法(ロ)副業(ハ)冠婚葬祭其他
△備考、共濟貯蓄△水産敎育(イ)學校敎育(ロ)社會敎育

女裝する
衣類を横領

好間村北好間字小舘炭礦運搬夫佐々木喜作(二七)氏

他を買受けて横領した事發覺、十七日平署に檢擧

平木工組合
工建具職組合臨時總會は十七日午後七時から市内マルトモホールに開き定疑變更の件及び其他を協議した

赤木合宿所青森縣生れ宮田鐵男(二)の腕時計と剃刀及び同村漆畠一夫氏からハーモニカ(價格三円)を窃取したのを手初めに去る四月十七日山神祭に女裝すると稱して同村三河サカエさんから衣類其

今晩の部

▼後六、〇〇　お話「どうして出來た？」ピラミッドとスフインクス。大阪童話敎育研究所△慕淵施政記念のタ▽後八、一〇　新日本音樂「瑞竹の歌」吉田晴風外▼後八、一三　講談「出世事」大島伯鶴▼後八、四七　歌謠曲「臺灣防衛の歌」外松原操▼後九、〇〇　時事解說▼後九、三〇　時報、ニュース、明日の話題

明日の部

▼後〇、〇〇　土曜コンサート(第二十回)歌劇「マノン」抜萃曲外東京放送管絃樂團▼後六、〇〇(子供の時間)うたのおけいこ二子供は貴」ダン道子▼後六、二五　講演一吉田大八先生を偲ぶ」丸山茂▼後八、〇〇　管絃樂　現代イタリアの音樂組曲「鳥」外　日本放送交響樂團▼後八、三〇　傳謠(錄音)「結つき唄」東京府下八王子連中▼後八、五〇　ラヂオ小說「善人と三平はむし」今泉啓外

白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫

……四六六……

長兵衛歸る（一）

主水の花嫁が水野の邸へはこばれたとき、「長兵衛の歸宅はもとより十郎左衛門もまたその歸宅を知らされなかつたので、たゞ意外として驚くことも知らぬ顏であつた。

「お嬢の嫁入り前と云ひ、主水と云ひ、なぜにかくまでものうはれてゐるのか」

と彼はあまりに運命が自己の爲してゐるにのみ終して惱こくすぎるので、人の世がいかにものろはしく感じたのであつた。

今まで多少遠慮をしてゐた白柄組の仲間共も、阿部も岡部もこゝろは平氣で水野の邸へ出入りするやうになつた。そして一體に十郎左衛門はともなつて落星におもむくやうになつて來た。

「落星の隱宅などは閑寂雲風である。「長兵衛はや更に大將等級太の苦言をおもひだして一日も早く江戸へもどつて來る事をねがつたが、それも無駄なにすぎない。ふと思ひついたのは江戸へ歸つて以來、實面目な生活に入つた松平五左衛門の事をおもひだした。

――さうだ。松平組に御れがひをして御主君を諫言して貰からと彼は五左衛門を訪れた。

五左衛門は「長兵衛の苦節を終しく結んでいたゞきたいと思ひます」その意味で今回のテルミー美容御相談會は御家庭美容の正しい方法と、自分で結へて美しくお似合ひになる洋髪の個人指導を特にお願ひいたしました

日時6月18・19日午後4時―9時（19は午後1時より）
會場　マルトモホール
會費　一切不要
講師　銀座テルミー美容科學研究所より招聘
主催　中野洋品店

白柄劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫

……四六六……

長兵衛歸る（一）

主水の花嫁が水野の邸へはこばれたとき、「長兵衛の歸宅はもとより十郎左衛門もまたその歸宅を知らされなかつたので、たゞ意外として驚くことも知らぬ顏であつた。

「お嬢の嫁入り前と云ひ、主水と云ひ、なぜにかくまでものうはれてゐるのか」

と彼はあまりに運命が自己の爲してゐるにのみ終して惱こくすぎるので、人の世がいかにものろはしく感じたのであつた。

今まで多少遠慮をしてゐた白柄組の仲間共も、阿部も岡部もこゝろは平氣で水野の邸へ出入りするやうになつた。そして一體に十

結婚の意味

平林たい子

秋から冬にかけては結婚シーズンだとされてゐる。何時、どうしてさうきまつたのか、それには經濟的な事情もあることであらうが、季節と共に人の心も引締るこの頃が、結婚の氣分にふさはしく感じた人の心はわかるやうな氣がする。勿論お金にゆとりがないとさう云ふ理由で結婚に踏み切れない人が澤山あつたが、よい人にはまづしいなりの結婚のあげ方はある筈で、お金と共をひつきりなしに要求する唯物主義はどうかと思ふ。

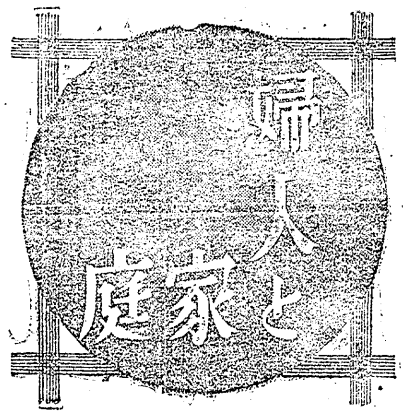
しかし、かう云ふ傾向は結婚年齢が、日露などの勝式だけを支配してゐるのらまだしも、結婚の內容そのものにまで浸潤して來て、結婚の動機と結婚生活とを甚だしくづさうとするのは感心出來ない。たとへば、今結婚になつてゐる結婚前の性關係の問題だが、私は、どちらかと云へば結婚前に關してゐる。結婚は兩性の全人格的結合で、それから、生理的な問題だけを抽出して考へるのは片手落ちだし、さう云ふ教育によつて、結婚前に潔心を失はせることは、それだけ結婚と云ふ飛躍を小さなものにする。

もと〳〵結婚に、男と女と云ふ極度に異つた兩性の統一で、女は女らしく、男は男らしく、その長しが伸びれば伸びる程一の意義も大き、偉くなり出來る程一の意義も大き、偉くて、その準備のために、感覺しない男の子は女の子と遊んだりやうに出來てをり、女の子もまた、強い感覺の感覺をもつて、その日まで感性を磨ておく用意をそなへてゐる。から云ふ天與の感覺を、結婚の女性感覺や強い科學意識に置きかへることは、ある部分の實用的な目的にこそ役立つが、結婚と云ふもの の創造的な意義は低めることになると思ふ。

これと似た理由で、感覺から女學生間の性、感式な性的接觸にも一つの地獄をもつて昔のインテリ婦人にも、似た傾向が見られる。それは女としての自覺から、社會的に男性と對等をたゝかべるために性を否認しようとしたものだつた。しかし、今の女學生は、小說や映畫で得た感覺だけの男性の觀念をもつて、自分の官能の中に、感覺だけの男女關係を入れようとする一種の觀念的な遊戯に過ぎないのである。

から云ふ點の少女たちの性感と一緒に、ダンスなどに見られる女のやうな男の出現は、男がかうした結婚の性格を決めて、現代の社會の不幸の一つを作つてゐると思ふ。

一家庭メモ一
◎ミソの酸味を除るコツ
ミソが古くなつて、酸味がついたときは、ミソの中へ、生松の炭を少しむき取つておくとあまりほります。



お笑ひ入場料

◇……ある映畫館の入場料は六十錢です、所がある人は非常に沢つて入場しましたが、歸る人は別に文句を言ひませんでした、どうしてでせうか？

◇……「その人は片目でした」

物質上の利益よりも 國家的に

結婚上の利益が大きいのでありまして、從に家族から物のこと事の他家族に對する心がけねばならぬと思ひます、大體世の中には感物と云ふものはない譯です、しかるにこの利害を知らないため感物が出るのです、ところが結婚の選擇するに當つて色々の利害關係が研究され、やがては全く感物無關になる時代がくることでせう

——○——

家庭や親類から嫁の姉く、感覺もなく指でられてゐるこれらの感物を頭に利用すれば、一家一族の結束を助くるのみならず、延いては國家的にも結婚上の利益となるのです、從しハイ嫁を生かす事は結婚だけでは不可能なことで愛する感覺の知識の力によつて其の利害を圖られねばならぬ活用は出來ぬのであります

——○——

一體、日本の家庭では、配偶するといふ事には手をつけない樣ですが、結婚にはハイ物利用のみとはかぎりません、離でも日常生活の中に感覺を見つけた感覺其の利を繰り返すことで愛する感覺の利益を生かすことが出來ます、例へば、あの人はお金持ちだとか、あの家は名門だとか、あの人は學者だとか、あの人は藝術家だとか、あの人は政治家だとか、あの人は軍人だとか、あの人は實業家だとか、あの人は技術家だとか、あの人は醫者だとか、あの人は辯護士だとか、あの人は教育家だとか、あの人は宗教家だとか、あの人は文